



# 飯能ロータリークラブ会報



唐竹晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

## インスピレーションになろう

RI会長 バリー・ラシン

2570地区ガバナー 茂木 正

第3グループ  
ガバナー補佐 細淵 克則

「想いを繋ぎ 地域と国の発展に奉仕する」

### 第 2822 例会 2018. 9. 19

—— 基本的教育と識字率向上月間 ——

天 候 晴 (NO. 55-12)

会 長 島田秀和 幹 事 馬場正春

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当 番 柏木君、川口君

例会場：ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点 鐘 島田会長
- ・ソング それでこそロータリー 四つのテスト
- ・卓 話 増島宏徳会員

#### 【会長報告】

先週は素晴らしい企画を有難うございました。14日の第3グループ会長幹事会(武蔵クラブ)、青少年交換委員会の報告によると、来年度の留学生は5人。学費・小遣い・保険料等1人107万円のうち50万を地区、57万をホストクラブで負担すると昨年決まっていたそうです。第3G(380人)では1人1500円、飯能は59名分88500円。申し送りが効いておらず、予算化していません。反対も出来ませんので事務局と相談し理事会にかけてどこかから出金させて頂きます。1500円は毎年だそうです。MY ROTARYの登録目標50%、飯能は1割以下。これも理事会で諮ります。IM1/20会場未定。ガバナー・デジグネートもしくはエレクトをとの強い要請があり、次回の会長幹事会までに方向性をもって臨みたいと思っています。いつまでも光り輝く、伝統ある飯能クラブのためにも是非選出出来ればと考えております。

#### 【幹事報告】

年度報告書、第3回の理事会議事録を配付。

#### 【委員会報告】

◎親睦活動委員会 吉田(武)君

10/18親睦コンペ終了後、懇親会を「暖らん」で開催。ご参加よろしくお祈りします。

◎雑誌委員会 半田君

9月号、縦組P15「見て見ぬふり」をしないこととは：線路に落ちた人を救おうと線路に降りる事、溺れた人を助けようと水に飛び込む事、目の前の人を助けようと思わず差し出した手が自分の命を奪う事がある。人間には

損得の感情を超越した自己犠牲の心がある。吉田松陰「かくすればかくなるものと知りながらやむにやまれぬ大和魂」。私も声をかける癖があり2度程危ない目に遭いました。横組P22「ロータリー希望の風奨学金」西川ガバナーが尽力された。P24「表」に温度差がある。海外への援助より足元も大事な気がします。

【出席報告】無届欠席0 沢辺出席向上委員

会 員 数		当 日		前々回修正
全 数	対 象	出席数	出席率	出 席 率
59名	6名	55名	94.92%	89.13%

#### 【M U】

9/10(所沢)和泉君

9/14(第3G)島田君、馬場君

#### 【結婚・誕生日祝】

吉澤親睦活動委員長

◇結婚記念日おめでとう

大野(泰)君、大野(康)君、藤原君

◇会員誕生日おめでとう

4木川君、9中山君、19土屋(良)君

22神田(敬)君、28土屋(崇)君

◇夫人誕生日おめでとう

11大野(泰)夫人、23森夫人、28和泉夫人

#### 【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・結婚記念日お祝い有難うございます。

大野(康)君

・誕生日お祝い有難うございます。木川君  
土屋(良)君、土屋(崇)君、神田(敬)君

・妻の誕生日お祝い有難うございます。森君

・増島先生、本日は卓話よろしくお祈り致します。新井(景)君、間邊君、福島君、本橋君

・早退します。大野(泰)君

本日計 24,000 円、累計額 180,001 円。  
© 26 日例会当番は加藤、増島会員です。

## 【卓 話】

講師紹介 福島プログラム委員長  
昨年もお願ひしてポール・ハリスについて話して頂いたのですが、皆さんからの希望を耳にしており、今年もお願ひしました。

## ポール・ハリスの生涯 その後

### 飯能ロータリークラブ 増島宏徳会員

米国製「スーパーボランティア」のワッペン。ロータリーにもボランティアがある。『ロータリー・ボランティアズ・ハンドブック』。この人はイタリアのロータリアンで、整形外科医のスキルを活かしカメルーンで「職業奉仕」。ロータリーの友 2017 年 1 月号に「『職業奉仕』はロータリーの根幹か？」を本田博己 PDG が寄稿、その後、賛成、反対意見も載りました。日本の RC の「自分の職業を立派にやればよい」というのは「思い込み」で、職業倫理、経営コンサルタントの話のようなもの。今 RI では、個人が行うものであれクラブが行うものであれ、職業上のスキルを活かした奉仕活動は全て立派な「職業奉仕」とされています。ボランティアとは「志願してやる」事。多国籍 RC では「私達の仕事や教育を通して他の人を助ける事が職業奉仕」とシンプルです。(ハンドブックより)「RI と世界に広がっているミッション・ステイトメント(共有すべき価値観や行動)は、高い倫理道徳基準を奨励し、実業家と専門家と地域のリーダーで、そのフェローシップを通して世界理解と親善と平和を促進し人道支援を提供する事」。RC とは「人道支援を提供する団体」という事です。

では本題。シカゴ・ワン(ロータリー・ワン)、1905 年に出来たのは RI ではありません。2 月 23 日、ポール・パーシー・ハリスが RC を創設。対して、ハリー・ラグレスは、1904 年 2 月 25 日(木)の創立を主張。彼は印刷屋として、04 年に RC に関する印刷を 4 回している。ところが、抜け駆けではないが、ポールとシルベスター・シール、ハイラム・E・ショーレ、ガスターバス・H・ローアの 4 人で創った事になっている(ポールは初代の会長ではなかった)。最初は会員同士の事業上の利益促進と親睦でバック・スクラッチングの世界だった。「サービス」という事は誰一人考えていなかった。1 業種 1 人主義の実業人と専門職の集まったクラブで、目的は、食事を共にする、楽しい事をする、友情を深める等であり、「ロータリー」の名称が始まる前には「FFF クラブ」(フーズ、ファン、フェローシップ)という広報があった事でもその頃の様子を想像する事が出来る。

フレデリック・トゥイド(ダッド・トゥイド)が、(利己的だとして最初、入会を断った)ドナルド・M・カーターの入会を機に、2 項だけだった定款に以下の条文を加えます。「シカゴ市の最大の利益を促進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広げること」。「コミュニティ・サービス」に繋がることを入れたわけですね。ゴールデン・ルール「汝の欲するところを他人にもせよ」を守ってフェア・プロフィットを行う。1907 年、ハリー・ラグレスが初めて歌(ロータリーソング)を歌う。08 年、親睦互惠派(多数派)の彼の紹介で



チェスレー・ペリーとアーサー・フレデリック・シェルドンが入会。(ポールの)奉仕拡大派は人気が無く少数だった。シカゴで生まれ育ったチェスは、ハリー派だったが、シカゴを大切にしている、シカゴクラブを潰されるのが嫌だったためにポールの依頼を引き受けたのではないかと思うのですが、彼が中心となって 16 のクラブを集め、「全米ロータリークラブ連合会」を結成します。第 2 回大会は翌年 1911 年、ポートランドで開催。この年はすごい年で、「He Profits Most Who Serves Best」(第 2 モットー)と「Service Above Self」(第 1 モットー)の両方が生まれました。「三賢者」チェス、シェルドン、ベンジャミン・フランクリン・コリンズ。チェスは雑誌『ナショナル・ロータリアン』を創刊させます。英語では単純に、人を助ける事や支援する事を「サービス」と言っている。

1912 年 8 月、ドゥルースでの第 3 回大会でポールは名誉会長(エメリタス)となります。その後は全てチェスが仕切るようになり、32 年間、事務総長として働きます。「私が設計者(アーキテクト)なら、チェスは建設者(ビルダー)だ」とポールは言っています。

鉄道拠点のシカゴは当時、「成功を夢見た人達が集まった無法と不快の街」でした。

ガイ・ガンデッカー(著書に『ロータリー通解』1916 年)は日本にすごく関係がある人で、1923 年の関東大震災の時に 1 億円位の義援金を日本に出してくれました。1920 年に(東京 RC が)創立された日本の RC は、その寄付以降、急に盛んになります。

ロータリーには「コード・オブ・エシックス(道徳律)」が 1915 ~ 80 年まで存在していた(今は「ロータリアンの職業宣言」「四つのテスト」)。何故「倫理訓」が必要だったのか。シカゴが荒れた街であった事と、1920 年に禁酒法が施行され、NY からマフィアが乗り込んで来た事が大きい。警察が捕まえられなかったアル・カポネを、財務省のエージェントだったエリオット・ネスが逮捕した事は有名。『アンタッチャブル』は彼の自伝です。

既にポールは総会には出席せず、各地を回っていた。その頃「ガバナー」という言葉が生まれる。1916 年、英語圏外で初のキューバ RC が創立。ここにポールは顔を出しています。17 年、アーチ・クランフが財団を創設。19 年、アジア初のクラブがマニラに誕生しています。

1923 年の「決議 23-34」はコミュニティ・サービス(社会奉仕)の中の第 1 条だった。RC はこの時に「ビジネスクラブ」から「サービスクラブ」に変わり始めていたのです。日本の RC は未だに「職業奉仕は金看板」というかたちで残ってしまっているが、「決議」は「地域活動」、社会奉仕に向かうというものだった。その奉仕は個人がやるという事も出ました。

最後にポールの言葉で終わります。「世界は絶えず変化しています。私達は世界と共に変化する心構えが無ければなりません。ロータリーの物語は何度も何度も書きかえられなければならないでしょう」。ポールは予見していました。それに乗り遅れているのが、日本の RC、「職業奉仕」だと思ふのです。